



ASSESSMENT OF TECHNOLOGY  
FOR BUILDING CONSTRUCTION  
GBRC FOUNDATION

GBRC 性能証明 第 07-21 号 改 2

## 建築技術性能証明書

技術名称：スリーエス G 工法—スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法—（改定 2）

申込者：岩水開発株式会社 代表取締役社長 小坂 広幸  
岡山県岡山市南区福吉町 18 番 18 号

技術概要：本技術は、セメント系固化材のスラリーを吐出しながら地盤を掘削攪拌することで、柱状の地盤改良体を築造する機械攪拌式深層混合処理工法である。本工法の特徴は、スラリーの吐出口を攪拌翼の上下に設け、掘削攪拌時には下から、引き上げ攪拌時には上からスラリーを吐出させることによって、改良体の品質向上を図っていることである。本技術は、2007 年 11 月 6 日に(財)日本建築総合試験所建築技術性能証明 第 07-21 号として性能証明されたものであり、2009 年 7 月 7 日の改定では、改良体径および改良長の範囲拡大、ローム地盤の場合の施工方法の変更とこれに伴う改良体コアの一軸圧縮強さの変動係数の変更、攪拌翼を 8 枚とした施工方法の追加、品質管理方法の追加、小規模建築物に対する施工仕様と品質管理方法の追加を行っており、今回の改定では、改良長の範囲拡大、小規模建築物に対する配合仕様、施工径および品質検査方法の追加を行っている。

開発趣旨：本技術は、スラリーの吐出口を常に掘削攪拌翼の進行方向前方に位置させることにより、従来の一方向吐出型の工法より強度のバラツキの少ない均質な改良体を築造可能とすることを意図して開発したものである。

当財団の建築技術認証・証明事業実施要領に基づき、上記の性能証明対象技術の性能について、下記の通り証明する。

平成 23 年 1 月 4 日

財団法人 日本建築総合試験所  
理事長 辻 文 三



記

証明方法：申込者より提出された下記の資料により性能証明を行った。

- 資料①：性能証明のための説明資料
- ②：品質・施工管理マニュアル
- ③：試験資料

資料①には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した説明資料がまとめられている。  
資料②は、本工法の施工および施工管理についてのマニュアルであり、施工方法および施工管理方法が示されている。  
資料③には、資料①で用いた個々のボーリングコアの観察結果や圧縮試験結果等が取りまとめられている。

証明内容：申込者が提案する「スリーエス G 工法 品質・施工管理マニュアル」に基づいて築造される改良体は、土質に応じて  $400\text{kN/m}^2 \sim 2000\text{kN/m}^2$  の設計基準強度を確保することが可能であり、その配合設計及び品質検査に用いる改良体コアの一軸圧縮強さの変動係数として、砂質土層、粘性土層およびローム層で 25% が採用できると判断される。